

# CASBEE 新築[簡易版]

# 評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.6)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社コスモス 北九州物流セン	階数	地上2F
建設地	福岡県北九州市	構造	S造
用途地域	市街化調整区域、防火指定なし	平均居住人員	25 人
気候区分		年間使用時間	5,475 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年8月 0.0	評価の実施日	2012年11月12日
敷地面積	56,967 m <sup>2</sup>	作成者	森田 満
建築面積	31,208 m <sup>2</sup>	確認日	2012年11月14日
延床面積	44,578 m <sup>2</sup>	確認者	古郷 誠

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 0.8</p>	<p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Q のスコア = 2.4</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.7</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.2</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 1.5</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.2</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.0</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.6</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.9</p>

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>物流の機能に特化したシンプルな平面構成で資材や資源の無駄を省いている。</li> <li>2階部分のセットバックや沿道緑化でまちなみづくりに配慮している。</li> </ul>	<p><b>その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特になし。</li> </ul>	
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>屋根を断熱工法とすることで作業室・事務所の天井裏の熱負荷を軽減している。</li> <li>オーバーヘッドドアの開放や窓を多く設置することにより、光視環境の向上と換気を確保している。</li> </ul>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事務室の床はOAフロアとし、将来のレイアウト変更に対応している。</li> </ul>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>北九州市の提唱する「緑の軸線」構想に寄与すべく、前面道路の沿いに植栽を計画しています。</li> <li>室外機を大庇上に設置し、排熱を建築物の高い場所で行なう。</li> </ul>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>受熱上支配的な屋根を断熱工法(インシュレーション)とすることで、熱負荷を低減する。</li> <li>窓を多く設置し、採光や通風に自然エネルギーを活用する。</li> </ul>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>路盤材に再生骨材を使用する。</li> </ul>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自転車の利用も想定し、十分な数のバイク置場を確保している。</li> <li>夜間のヘッドライトによる近隣への照らしつけに配慮し、南側境界に目隠しフェンスを設置する。</li> <li>物流で使う廃ダンボールを保管する廃材庫を設置し、</li> </ul>

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい